

## 令和5年度 小田原東高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務の内外にかかわらず、信用失墜行為の防止を心掛け行動する。	朝の打合せや職員会議において、啓発・点検資料及び新聞記事等を用いて教育公務員としての自覚を促し、意識向上を図り、不祥事防止に努めた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等のない学校、職場を実現する）の防止	パワハラ、セクハラ、マタハラ等のない学校、職場を実現する。	ハラスメントを未然に防ぐために、「報告・連絡・相談」について職員に周知し、職場環境の改善のために、校内の巡回や職場環境の整備を行った。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ等のない、生徒にとって安心かつ安全な学校を実現する。	4月当初に、生徒への連絡手段の確認及び連絡先収集手段について職員に周知した。また、9月には、個人情報取り扱い、SNSに関する研修・アンケートを実施して意識向上を図った。
体罰、不適切な指導の防止	基本的人権の尊重の精神に基づき、体罰や不適切指導のない学校を実現する。	人権に関する研修会を実施し、意識の向上を図るとともに、新聞記事等を活用して体罰厳禁及び生徒の基本的人権尊重について共通理解を深めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書発行に係る不適正事案のない学校を実現する。	入学者選抜業務においては、新入試制度を理解するための研修会等を実施し、入学者選抜要綱の見直しを行った。また成績処理については、ダブルチェック体制で臨み、事故防止に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理に努め、日常的な管理の徹底と事故防止を図る。	情報セキュリティ対策として、研修会を実施した。また、生徒の個人情報収集について、事前に保護者から承諾を得ること、保管・持ち出しについては台帳を作成し、適正な手続きの徹底を図った。
交通事故の防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	生徒に交通安全教育を行う立場として、自ら交通違反、交通事故を起こさない。	交通違反・交通事故防止に向けて、報道等の資料を基に定期的に職員に注意喚起を行った。また、日常的に朝の打合せ・職員会議等で交通マナー、交通法規遵守の徹底を周知した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	コンプライアンス（法令遵守）に基づいて、適正かつ円滑な業務執行を行い、働き方改革を進める。	企画会議及びグループ会議等で業務等の見直しを図るとともに、ICTを利用することで業務の効率化を実施した。また、Teams等を利活用することで、打合せ時間短縮やペーパーレス化を図った。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則った私費会計の適切で円滑な執行に努める。	年度当初に、私費会計処理について配布文書をもとに、職員会議で適切な処理を行うように周知した。財務事務調査の結果については、概ね良好であり、職員会議でその内容を周知した。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

事故・不祥事ゼロを目標に、定期的な研修会等を通して、様々な事例を挙げ職員の意識向上に努めてきた。結果は概ね達成できている。今後は、若手職員の増加による世代間格差への対応や教育公務員としての更なる意識の向上及び法令遵守、服務規律の徹底を周知するための、新たな研修を実施する必要がある。